

2013年1月4日

報道関係各位

一般社団法人日本少額短期保険協会  
東京都中央区八丁堀三丁目12番8号  
八丁堀SFビル2階  
会長 榎本重秋

## 日本少額短期保険協会 2013年 年頭所感

新年明けましておめでとうございます。

2013年の新春を迎えるにあたり、年頭の所感を申し上げます。

まもなく、未曾有の大震災から2年が経過しようとしています。日々の報道において、復興への兆しを感じられるようになりつつある半面、いまだ、罹災の傷が癒えない多くの被災地および被災者の皆様にとって、新しい年がよりよい年となるよう願っております。当業界も、引き続き、被災者の皆様への全面的支援を継続し、復興の一助になるよう尽力する次第です。

昨年は、増税法案の成立や、TPP加盟の是非など、金融業界にとって影響の大きい事柄が多い一年となりました。また、保険業界においては、保険会社のグループ経営に係る規制の緩和、外国保険会社の買収に係る規制の見直し等が実施されグローバル化が進む潮流の中で、保険の在り方が従来スタンスからの大きな転換期を迎えているように感じられます。一方、私たち少額短期保険業界は、カスタマーサービスの向上、各種コンプライアンスの強化、試験制度の改変などを行い、保険としての地力を強化すべく努めてまいりました。

当業界の概況を振り返りますと、経過措置の延長、100名規制の変更などの保険業法改正をはじめ、少額短期保険業者から損保会社への移行や、少額短期保険持株会社の誕生など「業界初」となる話題に富んだ一年であったといえます。決算の概況においては、昨年に引き続き高い成長を維持しており、23年度の事業成績は、契約件数が合計464万件（対前年9%増）、収入保険料は491億円（同5%増）となり、500万人、500億円の大台も目前に迫りました。種目別で見ますと、家財系は契約件数・収入保険料ともに対前年比10%増の成長を維持しました。費用保険の分野では収入保険料においては同62%増となり、生保系についても堅調な推移を示しております。また、昨年度は約2/3の会社が黒字転換し、財務基盤の安定化も着実に進み、より一層お客様へ安心を提供できる体制となりつつあります。

商品群に目を向けますと、「入院前に一時金を支払う保険」「障がい者の方向けの医療保険」「孤独死が発生した際の家賃補償」など、消費者のニーズ、時流に沿った魅力的な商品が数多く登場しました。

昨年はメディアを問わず、少額短期保険が取り上げられ、紙面を賑わせました。

一昨年の発行依頼、好評を博しました「少額短期保険ガイドブック」も刷新し、報道関係者をはじめ各方面に配布いたしました。マスコミ関係者との懇談会、ファイナンシャルプランナーの方を招いての勉強会を定期開催するなど、積極的な活動が結実したといえます。ミニ保険という愛称とともに報道される回数の増加に伴い、協会にも消費者の皆様からお問い合わせをいただく件数が飛躍的に多くなりました。着実に少額短期保険が、世の中に浸透してきていることを実感しております。今年も引き続き広報活動に注力し、少額短期保険の魅力を一人でも多くの皆様の手届けられるよう戦略的に展開してまいります。

今年で発足より3年目を迎える指定紛争解決機関（指定ADR機関）の活動については、消費者の皆様から寄せられたお申し出について、全体の80%以上の割合で一か月以内の早期解決に導いてきました。本年もトラブルの解決および未然の防止はもちろんのこと、関連団体との定期的なヒアリング、意見交換を行い、更なるサービスレベルの向上を目指します。また、業界全体の顧客対応にかかるクオリティを牽引し、少額短期保険をご活用いただいている、消費者の皆様へ「信頼感」をご提供できるよう心がけます。

また、当協会は、昨年6月より金融審議会ワーキンググループに参画させていただき、保険商品・サービスの在り方についての意見を述べてきました。その中でも現物給付型保険の在り方については、少額短期保険が現物給付型保険に対して親和性が高いことについて、具体例を交えて説明してまいりました。今年も引き続き、現物給付型保険の実現も含め、新しい保険商品、保険サービスの可能性について、様々な角度から意見、提案を行ってまいります。

私たちの業界は、今年で誕生から8年目を迎えます。私たちは今日まで、各種規制の緩和に取り組み、一部については実現を果たしました。しながら、未だ実現していない規制緩和要望に関しては、少額短期保険の発展に資することはもとより、消費者の皆様へ、一層の安心をご提供できるよう、今後も、消費者目線で現行制度を捉え、継続して主張していきます。

昨年は「復興元年」を掲げ、業界全体で被災者の皆様への支援を続けていくなかで、皆様に寄り添うべき保険の在り方を考える一年であったと思います。保険の原点である「助けあい」の精神で、業界一丸となって、その責務を全うし、引き続き各種課題に取り組んでまいりたい所存です。

皆様のご理解とご支援をお願いするとともに、皆様のご多幸をお祈りして年頭のご挨拶とさせていただきます。

以 上

**<本件に関するお問い合わせ>**

日本少額短期保険協会：(杉本/手塚)

TEL：03-6222-4422 FAX：03-3297-0755 E-mail：[info@shougakutanki.org](mailto:info@shougakutanki.org)